

令和6年9月3日  
岐阜県立飛騨高山高等学校  
国土交通省 高山国道事務所

## ビオトープ“飛騨の森再生”における トンボ類調査および外来植物駆除

～飛騨高山高校の2年生が秋のトンボ類調査と外来植物駆除による  
ビオトープの環境保全について学習します～

### PRポイント

道路内用地に創出したビオトープを活用し、高校生と協働で  
動植物の生息・生育環境創生の取り組みを行っています。

- 概要：高山西1C内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”において、平成22年度から飛騨高山高校生徒が環境学習を実施しています。  
今年度4回目の実施となる今回は、2年生の皆さんと一緒に初秋に見られるトンボ類の採集・識別や特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除を行います。
- 日時：令和6年 9月 9日(月)  
13:30～15:30【予備日：9月17日(火)同時刻】
- 場所：中部縦貫自動車道高山清見道路 高山西インターチェンジ内  
ビオトープ“飛騨の森再生”（高山市清見町牧ヶ洞地内）
- 参加者：岐阜県立飛騨高山高等学校 環境科学科 2年生
- 添付資料：別紙1～3のとおり
- 配布先：高山記者クラブ
- 問合せ先：岐阜県立飛騨高山高等学校 山田キャンパス 環境科学科 石黒 比利（いしぐろ ひとし）  
TEL 0577-33-1060  
FAX 0577-32-8994  
国土交通省中部地方整備局 高山国道事務所 事業対策官 永富 達也（ながとみ たつや）  
TEL 0577-36-3824  
FAX 0577-36-3801
- 取材申込：事前に、以下のURL、またはQRコードよりお申し込みください  
URL：<https://forms.office.com/r/T1Mt79tgWj>  
取材登録QRコード



## 別紙— 1

### 学習内容

今回は、環境科学科の2年生が参加し、ビオトープ内において初秋に見られる昆虫類（トンボなど）の観察と特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除を行います。

トンボ類調査では、トンボ類の採集方法やその分類を学ぶとともに、トンボ類を指標としたビオトープの環境評価を試みます。

また、オオハンゴンソウの駆除では、7月に引き続き再度の抜き取りを実施します。オオハンゴンソウは再生能力が高く、毎年駆除を継続している状況ですが、短い頻度での繰り返しの駆除を実施することで、より大きな抑制効果が期待でき、将来に向けたビオトープの環境維持が容易になります。

### これまでの学習状況



トンボ採集の状況(令和5年9月)



採集したトンボの分類(令和5年9月)



オオハンゴンソウ駆除の状況(令和6年7月)



合計120kgのオオハンゴンソウを駆除(令和6年7月)

### 高山西ICのビオトープで見られるトンボ類

平成16年11月完成以降、平成17～21年と平成26年(整備後10年時点)に生物モニタリング調査を行っています。調査により、ビオトープでは現在までに計32種のトンボが確認されています。

#### 【トンボ科】



**アキアカネ**  
平地～山地の水田や池、湿地に広く生息。  
夏は涼しい山地に移動し、秋になると平地に戻る。

#### 【ヤンマ科】



**オオルリボシヤンマ**  
平地～山地の周囲に樹林のある抽水植物や浮葉植物の繁茂する池沼に生息。  
高山の池などでもみられる。

#### 【イトトンボ科】



**キイトンボ**  
平地～山地の抽水植物の繁茂する沼地・湿地に生息。  
放棄水田や土砂採取跡地に生じた湿地でもみられる。

## 高山西ICビオトープ “飛驒の森再生”

### ビオトープ “飛驒の森再生” 整備

中部縦貫自動車道高山清見道路の建設により、動植物の生息・生育環境が大きく変化する可能性がありました。そのため、環境保全を目的として、インターチェンジ内にビオトープ『飛驒の森再生』を計画し、平成16年11月に高山清見道路（飛驒清見IC～高山西IC）の供用と同時に完成しました。

さらに、平成22年7月には、飛驒高山高校と高山国道事務所でビオトープの「維持管理に関する協定」を締結し、継続して動植物の生息・生育環境創生に取り組んでいます。



整備直後（平成16年11月）



現在の状況（令和6年7月）

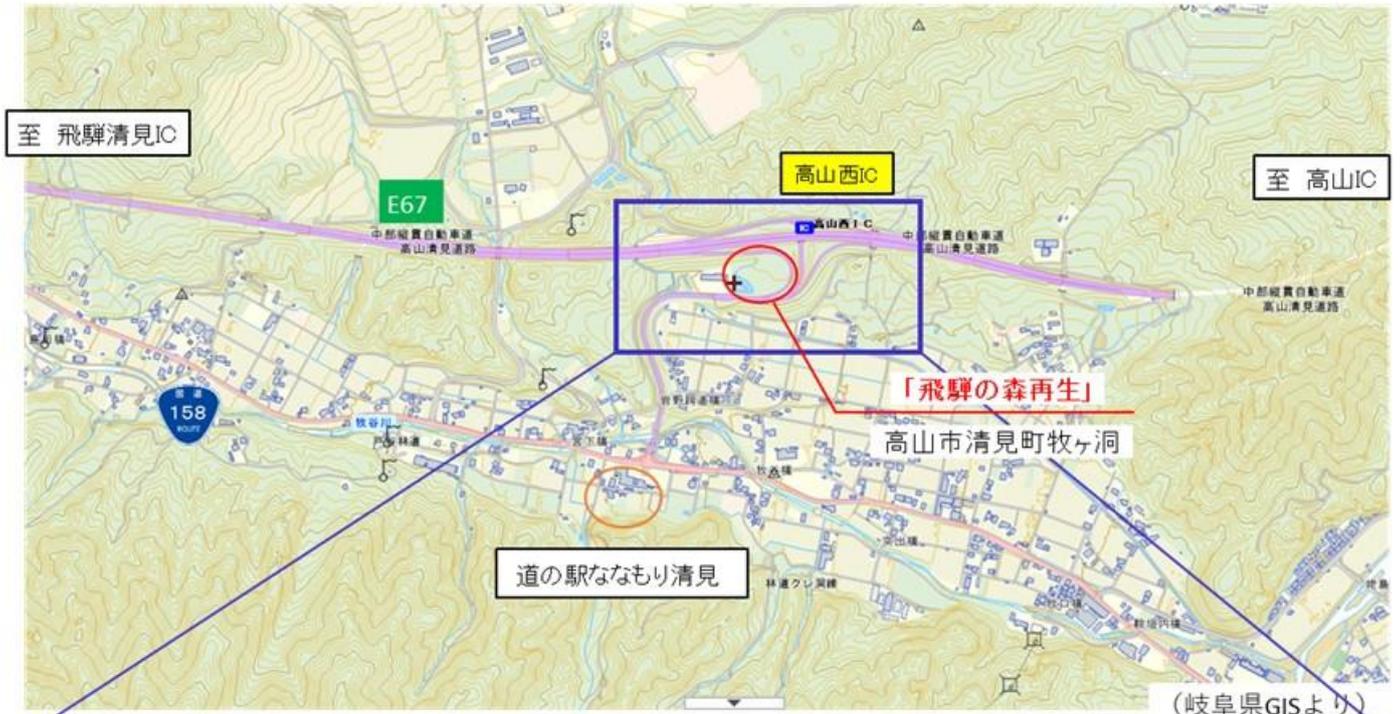
### ビオトープ “飛驒の森再生” 整備

完成してから20年が経過したビオトープでは、完成当時に移植した根株・貴重植物が良好に生育しています。また、周辺域に分布する在来種もビオトープを利用しており、ビオトープ内は調整池や植生の変化に併せて、両生類（カエル）や昆虫類（チョウやトンボ、バッタなどの定着が順調に進み、生物の多様化が進んでいます。

飛驒高山高校との協働による継続的な維持管理活動により、貴重な植物が繁殖または再確認されるなど、様々な動植物の生息・生育環境が維持されています。

# 環境学習 実施位置図

## 実施場所：高山西IC内 ビオトープ「飛驒の森再生」



取材希望の方は清見除雪センターにお集まりください。

(岐阜県GISより)